

入場無料

ご来場者多数の場合は
(入場制限をする場合がございます)

ご来場者の
中から
「青森旅行」
1泊2日ペアで
プレゼント!!
ステージ終盤に
その場で決定!!

来場記念
「青森名産品」
プレゼント!!

アンケートに
ご協力下さい!

Oh! あおもり10市 大祭典 in TOKYO

あおもり10市の 祭り、郷土芸能、観光、食を 映像と面白トーク、生演奏で発信!!



総合プロデュース
伊奈かっぺい氏
(弘前市出身、青森市在住)

司会 上明戸華恵 (十和田市出身)

2015年2月8日(日)

12:00~16:00 ステージイベント

10:00~16:30 (ロビーにて) あおもり10市物産展開催

お問い合わせ: 「Oh! あおもり10市大祭典 in TOKYO」 開催事務局

TEL 017-734-5179 [青森市経済部観光課]

<http://aomori10shi.jp/>

あおもり10市 検索



有楽町 よみうりホールで開催



よみうりホール TEL: 03-3231-0551

東京都千代田区有楽町1-11-1 読売会館7階

JR山手線有楽町駅 / 京浜東北線有楽町駅国際フォーラム口よりすぐ

東京メトロ有楽町線有楽町駅D4、D6出口

東京メトロ日比谷線or千代田線日比谷駅A2出口から徒歩3分

都営地下鉄三田線日比谷駅C9出口から徒歩5分

主催: 青森県都市共同観光振興特別対策事業実行委員会 (青森市・弘前市・八戸市・黒石市・五所川原市・十和田市・三沢市・むつ市・つがる市・平川市)
後援: 読売新聞東京本社、東奥日報社、デーリー東北新聞社、陸奥新報社、NHK青森放送局、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送、エフエム青森



Oh! あおもり10市大祭典 in TOKYO プログラム

10:00 オープニングセレモニー(ロビーにて)

11:30 会場

第一部

- 12:00 オープニング
- 12:10 青森市・八戸市・弘前市・むつ市 PRタイム
(津軽三味線、南部三味線)
- 13:05 五所川原市・つがる市・平川市 PRタイム
(五所川原立佞武多囃子、つがる市馬ねぶた囃子、平川市ねぶた囃子)
- 13:45 黒石市・三沢市・十和田市 PRタイム
(黒石よさされ、三本木小唄流しおどり、おしまこ流し踊り、ベリーダンス)

14:35~14:45 休憩

第二部

- 14:45 ねぶた書き割り(筆書きと色付け作業)と囃子の共演
- 14:50 サエラ ミニライブ
- 15:05 八戸三社大祭 お囃子
- 15:15 津軽民謡・南部民謡
- 15:45 エンディング

16:00 終了

あおもり10市物産展

10:00 → 16:30

あおもり10市観光PRコーナー

あおもり10市の観光スポットや物産、特産品など、各市の魅力を紹介する観光情報コーナー

B-1 B-11 コーナー

「10月31日(土)、4日(日)第10回B-1プログラム「和・田・南」昨年の第9回は「ダラダラ」部山見事ロードランニングを受賞した十和田「地産ゼミナール」の紹介や金の蜜を採る1また一昨年の鹿田大会でゴールドダラダラを受賞した八戸せんべい研究所と黒石のゆきそばはAPPY 鹿田「ジュー」ご紹介!

あおもり十市十色弁当

200食 限定販売 ¥2,500 (税込み)

あおもり10市の食材が詰まった特製オリジナル弁当

※なくなり次第終了となります

主な青森県出身の応援隊・出演者

十日市秀悦(八戸市出身)、サエラ 菊池由利子・高橋朋子(五所川原市出身)、ずれやまズレ子(むつ市出身)、竹乃會(つがる市)、新井田附祭振興会(八戸市)、黒石よさされ東京会、黒石レクリエーション協会(黒石市)、十和田バラ焼きゼミナール(十和田市)、三咲羽や(三沢市)、アミールザハラ(三沢市)、三本木小唄流し踊り普及委員会(十和田市)、むつ地区連合婦人会(むつ市)、デキシーランドジャズ奏者永生元伸(平川市出身)、菫中馬っこ愛好会(つがる市)、つくだ貞夫、つくだ寿雪、木村和子社中、須藤圭子、高橋竹春、角田洋若社中、青森ねぶた師 外崎白鴻、弘前ねぶた絵師 川端東一郎、五所川原立佞武多師 鶴田昭法 他

青森県10市のお祭りご紹介



青森ねぶた祭(青森市)
毎年、8月2日から7日まで開催される「青森ねぶた祭」は、市民が熱く燃える夏祭りです。主役とも言える「ねぶた」活気あふれる「囃子」と「ハネト」がひとつとなった「青森ねぶた祭」は、国の重要無形民俗文化財に指定され、世界に誇る火祭りとして、毎年多くの観光客でにぎわっています。



弘前ねぶたまつり(弘前市)
津軽の夏を彩る弘前ねぶたまつりは、三国志や水滸伝などの武者絵を題材とした大小約80台の勇壮華麗なねぶたが、城下町弘前を練り歩く夏まつりです。鼓輪(前)の雄姿と見送り(後)の幽玄さが対照的な「ねぶた」、伝統ある豪華絢爛な「ねぶた」とともに、情緒ある笛や太鼓のねぶた囃子にのせて、市民らの手によって運行されています。



八戸三社大祭(八戸市)
八戸三社大祭は、毎年7月31日から8月4日まで開催される、およそ290年の歴史と伝統を誇る豪華絢爛な山車絵巻。8月1日と3日は、三つの神社の神輿行列と、神話・伝説・歌舞伎等を題材とした27台の山車が、八戸市中心街を練り歩きます。また、7月31日の前夜祭、8月4日の後夜祭は山車の一斉展示とライトアップが行われ、日中とは違った雰囲気を楽しめます。国の重要無形民俗文化財指定。



黒石よさされ(黒石市)
黒石よさされは、廻り踊り、組踊り、流し踊りの3つの踊りで構成されています。起源は、山岳宗教が盛んであった500年から600年前で、盆踊りの時の男女の恋の掛け合い唄であったといわれています。8月15日、16日には、連日2千人を超える踊り子が「エッチャホー、エッチャホー」の掛け声とともに、揃いの浴衣で「流し踊り」を披露します。また、時折円を描いて踊る「廻り踊り」は観客を巻き込んでの乱舞となります。



五所川原立佞武多(五所川原市)
五所川原立佞武多は平成8年に有志の手により、約80年ぶりに復活。平成10年から祭りとして運行が始まりました。高さ約23メートル、重量約19トンの巨大な山車が「ヤッテマレ、ヤッテマレ」の掛け声とともに、五所川原市内を練り歩き、その圧倒的な迫力で観客を魅了します。運行は8月4日から8日に大型立佞武多3台、中型立佞武多、小型ねぶたを含め、約15台の山車が出陣します。



三本木小唄流しおどり(十和田市)
現在の十和田市の中心部にある三本木地区は17世紀中頃、15軒ほどの家しかない荒れ野原であったが、1800年代に南部藩士新渡戸親子の穴開開発により奥入瀬川の清流が水路を流れ、「まちづくり」が進められた。「三本木小唄流しおどり」は古くから三本木地区で踊られていたが、昭和30年に十和田市が誕生し、その翌年、三本木出身の歌手 菅原都々子により「三本木小唄」が歌われ、十和田市の盆踊りの定番となった。



ベリーダンス(三沢市)
「人とまちなんで創る 国際文化都市」をスローガンにし三沢市で日米交流が盛んな中、日ごろの感謝を込めた様々なイベントを開催しています。基地内では日本人による「ジャパネーター」、市内ではアメリカ人による「アメリカネーター」を平成元年より毎年開催しています。その際に、健康美と芸術性を求めて集まった日米混合チームがお祭り広場などで踊る人気のダンスです。



おしまこ流し踊り(むつ市)
その由来は寛文4年、南部藩第28代藩主重直公が領内巡視のため田名部へ来た時、田名部通りの代官が人々を集めて踊らせた中で一原目を引く「おしま」という名の娘の首頭に重直公は至極ご満足し、褒美を与えたことから盆歌を「おしまこ」踊りを「おしまこ踊り」と名を付けたとされています。



馬ねぶたパレード(つがる市)
昭和初期、農耕馬の競り市が行われた旧木造町は、東北三大馬市の一つに数えられ、当時は「馬つご市」という愛称でにぎわっていました。その当時のにぎわいへの思いが形となり、現在は「馬まつり」として開催しています。祭りのメインは、馬ねぶたが商店街を練り歩く「馬ねぶたパレード」、夜には発展に貢献した農耕馬を偲び、パレードを練り歩いた馬ねぶたに火が放たれ、火花と共に秋の夜空を彩る「新田火まつり」など、多くの催しもので祭りは盛り上がりします。



世界一の扇ねぶた(平川市)
高さ11メートル、幅9.2メートルの「世界一の扇ねぶた」、平均的な高さは6~8メートルという中で世界一の大きさを誇ります。水墨画調で描かれたねぶたは珍しく、毎年張り替えられます。「どこにもないねぶたをつくらう」という発想から制作したもので、夏に行われる平川ねぶたまつりでは、圧倒的な迫力で最後尾を努めます。また、ねぶた展示館に常時展示され、自由に見学することができます。

住んでみませんか青森県 ~就職・暮らし合同相談コーナー~

当日、会場にて情報提供やご相談を承ります。

就職に関するご相談・情報収集は

「あおもりUターン就職支援センター」へ

都道府県会館7階(永田町駅5番出口徒歩1分) ☎03-3238-9990
平日10:00~17:00(土日祝は休み)

暮らしのご相談・体験ツアー等の情報収集は

「青森暮らしサポートセンター」へ

東京交通会館5階(有楽町駅前徒歩1分) ☎090-6342-6194
平日10:00~18:00(水土日祝は休み)